

令和7年6月30日 庁議資料
総務企画局

2025 年(第 35 回) 福岡アジア文化賞



公式行事について

1 概要

福岡アジア文化賞では、9月に下記のとおり公式行事を執り行います。いずれの行事も無料でご参加いただけます。

第 35 回となる今年の受賞者は、裏面記載のとおり決定しております。受賞者を福岡にお招きし、各種行事を開催いたしますので、職員の皆様におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

2 主な公式行事

行 事		会 場	日 時
授賞式		福岡市民ホール 中ホール	9月16日(火) 18:30~20:00
市民フォーラム (トークイベント)	<大賞> 高良 倉吉	アクロス福岡 円形ホール	9月17日(水) 18:30~20:30
	<学術研究賞> パク・ヨンソ	アクロス福岡 円形ホール	9月17日(水) 15:00~17:00
	<芸術・文化賞> ヴォ・チョン・ギア	福岡市美術館 ミュージアムホール	9月15日(月・祝) 13:30~15:30

* 行事の詳細のご案内は7月22日を予定しています。

【問い合わせ先】

総務企画局国際部アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）
担当：長岡、山守 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130

2025 年(第 35 回)福岡アジア文化賞 受賞者

大賞 高良 倉吉 (77 歳)

歴史学者



琉球史研究の多方面に新境地を開いてきた歴史の表現者

- ・二度にわたる首里城正殿復興事業に関わり、2019 年から首里城復元に向けた技術検討委員会委員長として傑出した貢献を行う。
- ・琉球・沖縄史を踏まえたピースフル・ラブ・ロックフェスティバルの企画、NHK 大河ドラマの時代考証など、活動は多彩である。琉球大学名誉教授。
- ・綿密な資料分析、グローバルな視座による歴史観、卓越した行動力、分野を超えた企画立案のすべてを統合し、琉球史学を学術研究から実践の場へと広げている。

学術研究賞 ペク・ヨンソ (71 歳)

歴史学者



民衆や市民の視点から東アジアを考察する現代史研究者

- ・韓国を代表する中国現代史研究者であり、歴史研究における学術的功績に加え、社会科学・人文科学において指導的な役割を担う。延世大学校名誉教授。
- ・国境を横断して、民衆や市民の視点から「東アジア言説」を展開してきた思想家でもあり、その著書は広く翻訳され、知識人などの共感を獲得している。
- ・東アジア人としての思想的営為は、現代世界の困難な諸問題に取り組むための重要な指針を示している。

芸術・文化賞 ヴォ・チョン・ギア (48 歳)

建築家



エコロジカルな建築のあり方に斬新な提案を行っている建築家

- ・急速に発展するベトナムの都市課題を解決する建築のあり方を追究し、環境に優しいエコロジカルな建築の姿を提示。
- ・日本で建築を学び、地域の環境や植生に配慮した建築デザイン、竹や木を建築材料として扱う構造デザインなどの一連の作品で広く知られる。

©Hiroyuki Oki

